



1 「円庭」の躊躇。微小な水滴が細くて長い水路を伝い、やがて巨大な水盤に落ちる。宇宙的な広がりを感じさせる芸術作品だ  
 2 「方林」から夕暮を空を望む。本を読むなり、ただ風景を眺めるなり、自由に過ごせばいい場  
 3 「こもれびの湯」の露天。この宿ではすべての客室に露天風呂が備えられるが、大浴場も快適

## 敬虔な信仰を昇華させた、 静かな無限を 感じさせる美学

この旅荘を貫いているのは、いわば「白の美学」だ。例えばエントランスを入ってすぐのロビー空間。周囲の樹々が映るガラス窓以外には何の装飾も施されていない土壁の白さに、訪れた旅人は胸を衝かれる。余剰を削ぎ落とした、寡黙への意志を秘めたデザイン。だからこそ、この白の美しさが存在し得る。

この空間を創造したのが、建築家・竹山聖。そして同氏の設計による、「方林円庭」の「円庭」には、グラフィックデザイナー・原研哉の手になる、巨大な円形の水盤を備えた躊躇が現れる。その先に待つ「円庭施術院」は、稀有な癒しの空間だ。今では温泉にスパは珍しくはないが、ここでは地元・白山の薬草や東洋の生薬を集めて作

## 石川県 山代温泉 べにや無何有

住所：石川県加賀市山代温泉 55-1-3 TEL：0761-77-1340  
 料金：1泊2食 ¥31,650～¥47,400 /  
 休前日 ¥36,900～¥52,650 (1室2名利用時の1名分料金)  
 CHECK IN：3:00PM OUT：11:00AM  
 部屋数：17室 (和室8室・洋室2室・和洋室6室・特別室1室)  
 カード使用可  
 交通アクセス：JR 北陸本線加賀温泉駅より車 10分 /  
 北陸自動車道 加賀 IC より車 20分 / 小松空港より車 30分

られた薬草玉を蒸し上げたものや、薬草オイルを用いてマッサージを行うなど、ここにしかない癒しのメニューが待っているのだ。

一方の「方林」。こちらは逆に何も無い空間だ。窓は完全に開け放つことができ、外界と自由につながる。広々とした板敷きの部屋には、ただ角柱が整然と林立する。しかし黄昏時、真っ直ぐに射し込んでくる陽の光でこの「方林」の白壁が朱く染まる、その鮮烈さはどうだろう。何も無いことが、すなわち豊かな精神性を有するという美しい逆説。

霊山・白山の麓。そんな逆説を秘めた「無何有(むかゆう)」という旅荘が静かに、そして気高く存在する。